

Junior Sunshine 5, 6 ルーブリックについて

ルーブリック(Rubric)とは、学習到達状況を評価するために、評価する項目(評価規準)と達成度を具体的な姿で記述した尺度(評価基準)を表にしたものです。指導者は児童の学習活動を観察し、ルーブリックに沿って評価します。

「Junior Sunshine 5, 6 ルーブリック」では、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと(やり取り)」、「話すこと(発表)」、「書くこと」の5領域を表の左側に縦に配置し、それぞれに何ができればよいのか(評価規準)を記述しました。さらにそれらを「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に分け、細かく評価規準を記述しました。そして、その評価規準がどの程度達成されているかを判断する尺度として、具体的な児童の姿を段階的にA, B, Cで記述しました。また、どの領域のどの観点をどの活動で評価すればよいのかわかるように、LL2, LP3などの記号(下記【ルーブリック表内の用語】参照)で記し、重点的に評価の対象とする活動については、記号に下線を引いてあります。このルーブリックは、Lessonごとに1シートずつ準備されています。

外国語の評価は、他教科同様、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点別学習状況をそれぞれA, B, Cで示します。そしてそれらを総合して評定(3, 2, 1)を出します。このような作業の助けとなるように、「ルーブリック用児童名簿」が別に用意されていますので、こちらもあわせてご活用ください。

【ルーブリック表内の用語】

LL や LP は Junior Sunshine 5, 6 中にある活動コーナー名の略称です。これらの活動が各領域、観点別の評価の対象となります。

LL … Let's Listen	LRW … Let's Read and Write
LP … Let's Play	LRT … Let's Read and Think
LT … Let's Try	文字 … 「文字に慣れよう」

【Junior Sunshine 1単元の構成】

Junior Sunshineではどの単元も Let's Listen ではじまります。これは、その単元を見通す内容となっており、その単元で学ぶ題材をテーマに、最終的に児童が言えるようになってほしい表現を使ったりスニング活動です。また、新しい語彙や表現も Let's Listen でまず耳で聞かせるようにしています。

その後、Let's Play や Let's Sing, Let's Chant で、聞いて反応するゲームや、聞いて一緒に歌ったりチャンツをしたりしながら、語彙や表現に慣れていきます。

十分に音声で慣れ親しんだあと、Let's Play で声に出してやり取りをしたり、Let's Read and Write で読み書きをしたりしながら、表現や語彙を定着させます。

単元最後の Let's Try では、十分に慣れ親しんだ表現や語彙を使って、グループや自分で発表したいことを考え、自己表現をする流れとなっています。

